広報
やすらぎ
No.137　令和8年11月15日発行

ぶなの園　住民の健康を祝う集い





9月18日ぶなの園で住民の健康を祝う集いを開催しました。今年の年祝いは米寿を迎えられる方が1名、喜寿を迎えられる方が1名、90歳以上の方々が27名、100歳以上の方々が5名となりました。午前中に式典を開催し、西和賀町長内記和彦様（代理：副町長髙橋光世様）、県南広域振興局花巻保健福祉環境センター所長中村公一様（代理：管理福祉課長藤原隆博様）よりご祝辞を賜りました。ご来賓の皆様からもご出席いただき、厳かな雰囲気の中、式典が執り行われました。住民代表として、ぶなの園で最高齢となる有馬ヒサさんより、お礼の言葉を頂戴しました。年齢を感じさせないしっかりとした発声で、これまでの人生を重ねてきた重みのある言葉に感銘いたしました。昼食にはお祝い膳として、赤飯や赤魚の煮付け等のメニューを楽しんでいただきました。午後は祝賀会を開催しました。今年のアトラクションは、北上市を拠点に活動されているボランティア芸能グループ「よしみとその一味」の皆様にご出演いただきました。本格的な民謡が会場全体に響き渡り、耳に心地良く・体の奥まで震えるような音響と歌声に、住民の皆様も拍手喝采でした。普段はなかなか会話が難しい住民の方も、声を出して涙されながら聴き入っている姿が見られました。アトラクションを楽しまれた後は、さまざまなお菓子をつまみに乾杯です。昔馴染みの住民の方々や、職員を交えて会話が弾む方々、皆様和気あいあいと祝いの席を堪能されておりました。今年も住民の皆様が笑顔あふれる敬老のお祝いを迎えることができ、職員一同大変うれしく思います。これからも、皆様の健康長寿を守り・支えながら、努めてまいります。ご出席いただいたご来賓の皆様、「よしみとその一味」の皆様に、改めて感謝申し上げます。



令和8年度 事例研究発表会

今年度のやすらぎ会事例研究発表会は10月16日に開催。3組の参加で、ステージに資料映像を映しながら各10分間の発表が行なわれました。在宅福祉課からは西和賀介護相談室のＡＩ機器等を活用した利用者支援。導入前と後でどのような効果があったのか、わかりやすく説明がありました。かたくりの園ではこの4月から通所介護が地域密着型に移行し、これまで以上に利用者の皆さんに寄り添ったサービスの実践発表がありました。危機管理体制の課題をテーマに掲げたのが施設福祉課のチームでした。夜中に停電になったことはこれまで何度かありましたが、照明器具の保管場所や初動対応、事故防止対応が徹底されておらず、夜勤者の不安を解消するための備えが必要であるとの提言でした。審査員には西和賀さわうち病院小原眞院長、健康福祉課深澤早苗課長の2名をお願いし、僅差でありましたが最優秀賞は在宅福祉課のチームが輝きました。所属以外の部署の取組みは学びにも刺激にもなります。短い時間の発表から大きな収穫が得られた事例研究発表会でした。






ハロウィンホーム喫茶

10月30日、ぶなの園交流スペースでハロウィンホーム喫茶を開催しました。異国の文化であるハロウィン。お菓子をくれないといたずらしちゃうよ！と仮装した子供などがお菓子を貰いにやってくるというイメージです。今では日本でも浸透してきているハロウィンですが、入所者さん達にはあまり馴染みのないものかもしれません。そんな皆さんにも楽しんでもらえるように会場の飾りつけもハロウィン仕様で賑やかに、かわいいカチューシャも用意。今回はフォトスポットも作ってみました。入所者さんからは「かぼちゃのお祭り？」などと言う声もあり、確かにかぼちゃばかりだからそう思うのも納得。色んなお菓子を食べながら、飲みながら異国の文化に触れてみる、良い機会になったのかなと思います。







敬老の日をお祝いしました

デイサービスかたくりの園

かたくりの園では、利用者様が元気に敬老の日を迎えられたことを喜び、これからも健康で明るく暮らしていただけるように、敬老会を９月15日と９月18日の二日間行いましました。式典では、利用者様に記念品謹呈と一名の方に百一賀のお祝いを行っています。祝賀会では栴檀保育所の園児たちによる踊りと園児たちが利用者様に答えを教え答えていただく「ご長寿クイズ」にも参加していただきました。利用者様からは「何を言っているのかわがらね」と言った声や、珍回答などもあり盛り上がりました。最後の園児からのお祝いの言葉と握手のとき、みんな笑顔で「かわいいね」「ありがとう」など言ってくれて心が温かくなりました。



園児とのふれあいが元気の源です

認知症を知る・聞く・話す

デイサービスぶなの園

町が主催の「まちなかカフェ」に参加させていただきました。認知症に気付いたきっかけや周りの反応、今の自分の思い、考え方などについてお話を伺ってきました。認知症の方が住み慣れた地域で希望する暮らしを継続していくには地域や周囲の理解・協力が重要であることを改めて強く感じました。お話をしてくださった神原さんは「なんとかなるさ」という気持ちで明るく楽しくお話ししてくださりました。福祉従事者として、西和賀町で暮らす認知症の方たちにもそんな気持ちで暮らしてもらえるように、今後も環境づくりや支援をしていきたいと思いました。



町民、スタッフ合わせて25名参加しました

和賀川 92

施設長　佐々木　篤

■近頃は日本企業が国際的サイバー攻撃を受け、個人情報の漏洩があり、穏やかな生活が脅かされている。報道によれば、既に個人の情報がネット上に公開され、要求に従わなければ、次々に公開すると更に脅しを掛けてきたとか。既に、犯人側が使用していたサイトの閉鎖など、これ以上の拡散は防がれたとの報道に少し安堵する■世は既にネット社会。あらゆる場所でＩＴ、ＡＩなるものが、人々の生活を支えている■行き過ぎた技術の乱用は世界に危機を招くが、必要な人に、必要なだけの技術は生きる力を与えてくれる。介護の現場でも、ＩＴの活用は不可欠なものになりつつあり、介護する側、される側、共に安心して使う事ができ、こころの通った援助が技術によって支えらる時代となった■されども、技術の進歩に遅れを取り始めた自分には、にわかに受け入れがたいところもあり、やっぱり最後は「人だから」と思うのは、年を取った証拠だろうか。

あたたかい善意を頂戴し厚くお礼申しあげます

令和8年9月1日～11月31日

【ご寄付】
・猿橋　憲子 様
・匿　　名 様
・沢内地区教育振興会
　志賀来実践班 様



10月22日ぶなの園で、夜間を想定した避難訓練を実施しました。消防署の職員の方々にも立ち会っていただき、通報から避難する動きを一通り確認しました。実際に火災や災害に遭遇した時、冷静に判断・行動することが求められますが、難しいこともあるでしょう。しかし、訓練をする、しないでは大きく動きや判断力に違いがでてくると思います。いつ起こるかわからないのが災害です。いざという時を意識しながら日々業務に取り組んでいきたいと思います。



あしあと　法人の主な動き

【9月】
1日　介護の仕事理解促進出前講座
7日　出張理容
11日　在宅福祉課第三者評価委員会議
15日　広報やすらぎ発行
16日　かたくりの園敬老会①
18日　介護の仕事理解促進出前講座
24日　出張理容
25日　ぶなの園住民の健康を祝う集い
28日　かたくりの園敬老会②
30日　秋の彼岸法要（碧祥寺）

【10月】
5日　出張理容
6日　かたくりの園第三者現場視察
16日　入所検討委員会
19日　事例研究発表会
21日　出張理容
22日　衣川診療所来園（特別養護老人ホーム羽衣荘）
23日　計量器定期検査
30日　施設福祉課第三者現場視察
　　ぶなの園夜間想定避難訓練
　　かたくりの園防災総合訓練
　　内部監査
　　ハロウィンホーム喫茶
　　出張理容

やすらぎ会ホームページ 最新情報更新中!!

右のQRコードを読み取れば、スマートフォンでも簡単に閲覧できます。ぜひのぞいてみてくださいね♪

https://yasuragikai.com/

編集後記

秋晴れの澄んだ空気が心地よかったのも束の間、気温が下がり、秋を通り越して冬の気配がします。ストーブを出し、こたつをセットすると猫は喜んでこたつに入りました。冬を感じてるのは動物も同じみたいですね。

やすらぎ会広報委員会
戸巻　久美　橋本由喜子
山鼻　恵　高橋　正広
柴田　望

□ 特別養護老人ホーム　ぶなの園
□ デイサービスセンター　ぶなの園
□ 西和賀介護相談室
西和賀町沢内字太田2地割135番地
電話0197-85-2322　FAX0197-85-2317
E-mail bunanosono@swc-yasuragikai.or.jp
□ 高齢者生活福祉センターかたくりの園
西和賀町沢内字大野17地割140番地1
電話0197-85-3388　FAX0197-85-3389

【発行・編集】社会福祉法人やすらぎ会　広報委員会